

令和5年度 学校関係者評価委員会 議事録	作成日	令和5年7月7日
	部署名	事務局
	書記	小山 和也

日時	令和5年6月30日（金） 18:30～20:20	場所	大阪保健福祉専門学校 6階演習室
----	--------------------------	----	------------------

概要	出席者	<p>【外部委員】（敬称略）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・業界関係者 川崎 純子（独立行政法人国立病院機構近畿中央呼吸器センター） ・業界関係者 加藤 正人（社会福祉法人隆生福祉会 管理統括部） ・高等学校関係者 森田 正良（大阪府立柴島高等学校） ・地域関係者 田中 幸恵（北中島地域社会福祉協議会） ・卒業生代表 新谷 美佳（株式会社 LITALICOLITALICOジュニア梅田教室）※保健保育科卒業生 ・保護者代表 丸川 奈津美（介護福祉科） <p>【事務局（学校委員）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校長 橋本 勝信 ・事務局次長 今村 健次 ・（書記）事務局 小山 和也 ・副学校長 三井 佐代子 ・教務副部長、キャリアセンター長 吉崎 歌葉子
----	-----	--

議事	<p>■学校長挨拶（橋本学校長） 本日では令和5年度の学校関係者評価委員会にご出席賜り、厚く御礼申し上げます。昨年度までのコロナ禍においては対面とオンラインを併用したハイブリッド型での開催であったが、今年度は4年振りに対面で開催させて頂いた。 各業界をはじめ、未だコロナ禍の影響は大きいですが、収束に向けて動き始めた現状を受けての開催であるので、よりよい学校運営を行っていくためにも是非、委員の先生方においては忌憚のないご意見、ご要望をお願いしたい。</p> <p>■はじめに（三井副学校長挨拶） 本日は卒業生、在校生の保護者の方、地域の方、業界の専門の方等、様々な方にお越し頂いた。数年、委員をお願いしている方だけでなく、今年度初めての方もおられるので、ぜひ委員の皆様から忌憚のないご意見、評価を頂戴し、改善につなげていきたい。</p> <p>■これからは、昨年度より委員長の加藤委員に司会進行をお願いする。（吉崎委員）</p> <p>■自己紹介（各委員より） では、これから各委員から自己紹介をお願いしたい。終わり次第、事務局からの本日の資料の説明と昨年度令和4年度の自己点検・自己評価並びに本年度の重点目標についてご説明頂きたい。（加藤委員長）</p> <p>■令和4年度自己点検自己評価と令和5年度重点項目について まずはお手元にある学生便覧をはじめ各種資料は、今からご説明させて頂く昨年度の学校運営に係る自己点検・自己評価の根拠となるものであるため、各項目を説明するときに適宜ご紹介する。 評価シートについては昨年度の委員会にて、評価シートが分かりにくいというご意見を頂いたため、今年度より昨年度の評価（1～4）と前年度の評価を併記して、どう改善したかを分かりやすくしてシートに追記している。 お手元の評価シートの『大項目1～10』の説明をしていくか、特に説明が必要な項目は資料をもとに説明させていただく。 ※特に説明したのは下記の項目である。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1-1-4、教育理念・目的・育成人材像（社会のニーズ等を踏まえた将来構想を抱いているか） ・2-4-2、学校運営（学校運営のための組織を整備しているか） ・2-7-1、学校運営（情報システム化に取組み、業務の効率化を図っているか） ・3-10-2、教育活動（作品及び技術等の発表における成果を把握しているか） ・3-12-3、教育活動（教員の組織体制を整備しているか） ・4-14-1、学修成果（資格・免許の取得率向上が図られるか） ・5-19-2、学生支援（学生の健康管理を行う体制を整備しているか） ・5-20-1、学生支援（保護者との連携体制を構築しているか） ・6-24-2、教育環境（学内における安全管理体制を整備し、適切に運用しているか） ・7-25-2、学生の募集と受入れ（学生募集活動を適切かつ効果的に行っているか） ・7-26-2、学生の募集と受入れ（入学選考に関する実績を把握し、授業改善等に活用しているか） ・8-29-2、財務（予算及び計画に基づき、適正に執行管理を行っているか） ・9-35-1、法令等の遵守（教育情報に関する情報公開を積極的に行っているか） ・10-36-1、社会貢献・地域貢献（学校の教育資源を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか） <p>についての評価や現状、具体的な取り組み、また課題についての説明があった。 （参考資料『学校法人大阪滋慶学園大阪保健福祉専門学校 学校関係者評価委員会資料』（A3）） また、続いて、令和5年度重点目標達成についての説明があった。 （参考資料『令和5年度重点目標達成についての自己評価』（A4））</p> <p>■意見交換 ※（カッコ）は発言者。敬称略。 （加藤委員長）学校側からの説明について、活発なご意見をお願いします。</p> <p>●教育活動・学生支援について （森田）コロナ禍になり高校の生徒たちのメンタル不調が増えており、この傾向は中学校でも同様であり、専門学校の退学率に繋がっているのではないかと。状況を共有しながら一緒に取組ができればと考えている。募集に関しては高校も他人ごとではない。ただ派手な募集手法ではなく、肝は子供たちのキャリア形成に行きつく事だと考えている。それから昨年聞いたかもしれないが働き方に関して、公立高校等の教員への対策は進んでいないのが現状。御校ではどのようにされているかお聞きしたい。また1人1台端末が主流になる中、生成AIに関しての対策をどうしているかお聞きしたい。</p> <p>（三井）看護師の働き方としては、現場は夜勤もあり不規則な面があり、キャリアアップとして学校教員を目指す場合もあり、選択しながらキャリアを形成していく。</p> <p>（今村）本校ではシフト制を敷いており、8時間勤務の徹底を図っている。</p> <p>（吉崎）安全衛生委員会を毎月実施し、産業界の先生からも確認・指導を頂きながら職場環境・働き方に関して改善を図っている。</p> <p>（今村）生成AIは今後の課題になる。専門職を学ぶ学校としては最先端技術であるAIは使わざるを得ない。教育DXを含め、どのように使用していくかは検討していく。</p> <p>●社会貢献・地域活動について （田中）質問ではないですが地域活動として北中島祭りやこども食堂等、保健福祉の学生に協力してもらい、非常に助けられています。高齢者が多いので、若い方に来て頂けることは非常にうれしい。また就職率100%はすごい事だと思います。</p>
----	---

(加藤) うちもコロナ禍で中々学生さんと交流できない中、ボランティアに来て頂いて、ガラス越しに交流して頂いた。学生さんが一生懸命対応してくださって、利用者さんも本当に喜んでくれた。本当にいいイメージを持っている。

●学生支援について

(川崎) 3月までは教育機関におりましたので、このような委員会を実施していた側でした。最近気になるのが大人の発達障害である。看護師の中に発達障害の方がいると現場が疲弊してしまう。入学試験でどう見極めるのかが大きな課題であるが、どうされているか。

(今村) 専門学校では高校2年生時点からアプローチをかけ、何回も学校に来て頂き、見極める様にしている。また入学後はキャリアサポートアンケートを実施し、個別で状況を確認するようにしている。

(三井) 看護学科では今年3名の退学者が出ているが成績は悪くない。共通しているのは、高校の先生の勧め(推薦)で看護師を目指したが、自分で「違う」と判断するとドライに退学している点です。

(森田) それは高校の進路指導現場が問われている問題であると認識している。進学先のミスマッチは大きな課題。柴島高校では総合学科で早期から職業意識を高める授業はあるが、普通科高校は今も模索している項目になっている。この問題は学校に持ち帰って議論していきたい。

(新谷) 私は児童福祉分野が専門なので、こういったお話を聞きながら自分の事として聞いていた。退学者に関して、専門学校では一つの資格を目指す、そこでしか働けないと思っている方が多い。もうすでに提示されているかもしれないが、資格取得後の就職先に関して、幅広い場所を提示して、もっと寄り添う事ができれば、退学(ミスマッチ)も減少するのではないかと思う。

(丸川) 子供は介護福祉士という目標をもって入学している。学校の事は、全て学校の先生方にお任せしている状況です。この年になると親には何の相談もしてくれない。ぜひ在学中・卒業後も自信を無くす時期が来ると思うので、困ったときに相談できる環境を作ってほしい。

(吉崎) 本校の卒業生がいろんな意味で戻ってきてくれる学校である。教員として帰ってきてくれる事も多々ある。

(今村) 本校に入学する学生さんは裕福な方は少なく、奨学金の貸与等苦労しながら入学・卒業されてる。そういった環境だからこそ学校や先生方と強固な絆が生まれ、卒業後も一生の付き合いが始まる学校です。ぜひ何かあれば学校に戻ってきてほしいと思う。

(田中) 自己点検の評価のシートを見ても、非常に厳しく評価されており、それだけ真剣にされているんだという事を実感します。本当に素晴らしいと思う。

(加藤) 当施設は大阪滋慶学園及びそれ以外の学校から、たくさん入職されているが、正直一番欲しいのは大阪保健福祉専門学校の学生さんである。見ていると学校に愛情を持って育てられたんだという実感があり、だからこそ母校に戻るんだと思います。もし自分が学生なら迷わず大阪保健福祉専門学校に入学すると思う。

■最後に

(吉崎) 本日は暑い中、大阪保健福祉専門学校の令和5年学校関係者評価委員会にご参集頂きありがとうございました。

以上

その他、開始前に本校13階に設置している『スマートスタジオ(動画撮影・編集)』を見学して頂き、教育方法の拡充と整備を説明した。